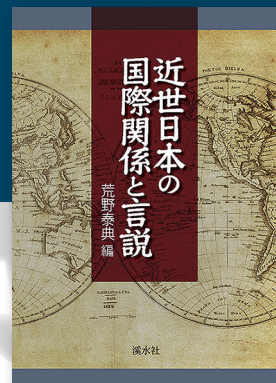


近世日本の国際関係と言説

「対外関係」「共生」「アイデンティティ」をキーワードに、
17～20世紀における国際関係、文化の変遷、歴史的
認識など、様々な角度から近世日本を論じる。



■第一部 17～18世紀の地域社会とアイデンティティ

秀吉の朝鮮侵略に見るポルトガルの参戦
東インド会社の苦い敗北
—鄭成功による台湾征服— (1661～1662)
台湾漢人アイデンティティの形成と媽祖信仰
「郡方毎日記」にみる近世対馬の突き取り捕鯨
糸割符再考—糸割符増銀と生糸現物配分について—
近世海域アジア世界とオランダ東インド会社の日本貿易
近世初期対外関係の伝承とその利用
—松浦静山の収集史料を中心に—

■第二部 19～20世紀の変革と言説

「蘭学」を腑分けする
「よしの冊子」諸写本の比較
19世紀における藩認識と国家認識・対外認識
—三河田原藩家老渡辺崋山を事例に—
ペリー来航時の贈答のかわら版にみる対外認識
後期幕領期におけるアイヌ同化政策と在地の動向
嘉永・安政期における幕府火薬製造の変遷
—水車動力の導入を中心に—
漂流民救助と送還の近代化
「女大学」言説の変遷とその評価—「女大学」研究をめぐる—
ソメイヨシノをめぐる言説とその実像
現在日本の国境問題を近世国際関係論から考える
【巻末】 A Bitter Defeat for the VOC:

The Conquest of Taiwan by Zheng Chenggong, 1661-1662

A5判 524頁

上仮製本カバー付

定価本体 **6,300円** + 税

執筆
者
(掲載順)

荒野 泰典 立教大学名誉教授
申 東 珪 東亜大学校・中国日本学部副教授
Patrizia Carloti ナポリ東洋大学教授
渡辺 真由美 国際基督教大学卒
赤井 孝史 園田学園女子大学短期大学部教授
及川 将基 東京大学史料編纂所学術支援専門職員・
豊島区立郷土資料館臨時職員
西垣 昌欣 筑波大学附属桐が丘特別支援学校副校長
島田 竜登 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

吉村 雅美 日本女子大学文学部史学科講師
大島 明秀 熊本県立大学文学部准教授
橋本 佐保 学習院大学史料館EF共同研究員
矢森 小映子 東京大学史料編纂所学術支援専門職員
田中 葉子 東京都北区教育委員会文化財専門員
濱口 裕介 札幌大学女子短期大学部助教
福田 舞子 大阪大学適塾記念センター特任研究員
上白石 実 盛岡大学文学部准教授
安田 千恵美 立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程在学中
秋山 伸一 豊島区立郷土資料館学芸員

書店名・帖合コード	注文日 月 日		荒野泰典 編著 発行所／溪水社		
	冊	近世日本の国際関係と言説			
	ISBN 978-4-86327-384-9				
	本体価格 6,300 円 + 税				
備考欄					

◆お問い合わせ、ご注文はこちら



株式会社 溪水社

広島市中区小町1-4 (〒730-0041) Email: info@keisui.co.jp
TEL (082) 246-7909 / FAX (082) 246-7876